

P T A活動紹介（中学校）

子どもの望ましい生き方を支えるP T A活動

～自信と誇りを持ち、心豊かにたくましく生きる力を育むために～

椎葉村立椎葉中学校
校 長 有田勝則

本校は椎葉村にある唯一の中学校です。山間部に位置する学校で、豊かな自然に囲まれ、生徒は伸び伸びと学校生活を送っています。現在は5つの小学校（椎葉小、尾向小、不土野小、大河内小、松尾小）から57名の生徒が通っています。（小崎小は令和元年3月に閉校）本校は、校区が広範囲にわたり通学が困難であるため、宮崎県内の公立中学校で唯一の寄宿舎である醇和（じゅんわ）寮で40名の生徒が生活しています。

また、P T A戸数は50戸と少数ながら、P T A活動に大変熱心に活動してくださる方々ばかりで、学校と一体となって様々なP T A活動に取り組んでいます。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多くのP T A活動が制限されていますが、感染症対策を行いながら、可能な範囲で活動に取り組んできました。今年度の主な活動と昨年度の主な活動について紹介します。

1 文化教養委員会

本校では、保護者が我が子に対する思いを文章に表し、それをまとめた「かすがい」を発行しています。学期に1回の割合で発行し、1学期は1年生の保護者、2学期は2年生の保護者、3学期は3年生の保護者が担当し、年間3回の発行を行っています。

椎葉村は校区内に高等学校がなく、本校を卒業すると同時に、親元を離れることになるため、保護者の方々の我が子に対する様々な気持ちを「かすがい」に載せます。どの保護者の文章も我が子の成長を願った感動的なものばかりで、読むと胸が熱くなります。本校の家庭教育学級が40年以上前から取り組んでいる伝統的なP T A活動です。今後も保護者の熱い思いを書き続けていきたいと思えます。



2 生活指導委員会

夏季休業明けの8月28日（金）に、午後からP T A親子奉仕活動が行われました。学校の敷地内の草刈りや樹木の伐採など、学校の職員、生徒だけではできない作業を保護者の方々の協力を得て行いました。



3 保健体育委員会

今年度は11月13日（金）に、参観日と兼ねて学校保健委員会を開催しました。講師として、熊本県薬物乱用防止指導員の溝上喜久隆氏をお招きし、「STOP the 薬物！」という演題で講義をしていただきました。薬物使用の低年齢化が問題視されるなか、安易に薬物を使用することの危険性について学ぶことができ、大変意義のある講義内容でした。後半にはクイズ大会も行われ、楽しみながら学ぶことができました。

その他、同じ日に食育の一環として、給食試食会を実施し、保健体育委員の方々と本校の栄養教諭が情報交換を行いました。また、今年度の給食の在り方や、食材の選び方について説明を受けました。



4 昨年度の主な活動

(1) PTAレクリエーション

例年、親睦を深めることを目的として6月下旬にPTAレクリエーションを保健体育委員会が中心となって行っています。一昨年まではミニバレーを行っていましたが、昨年度から怪我を防止するためアジャタ（玉入れ）に変更しました。変更に伴って、生徒も一緒に行い、大変盛り上がりました。



(2) 激励会

高校受験を控えた3年生の激励会を家庭教育学級の活動の一環として1月中旬に行いました。3年生が高校受験に「勝つ」という縁起を担いだカツカレーを食べるなどして、合格への意気込みを高めるように激励していただきました。「がんばって」「合格祈願」といったメッセージとイラストが描かれた手作りの旗も用意していただき、心温まる会になりました。1、2年生にもカツカレーが振る舞われ、生徒達には「力がだせそう」「気分転換になった」などといった感想が出され、大好評でした。

